

キイトルーダ®と化学療法の併用治療を受けられる患者さんへ

HER2陰性胃がん

DIARY & MEMO

監修：国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科 院長補佐 仁科 智裕 先生
看護部 外来師長 岸田 恵 先生
国立病院機構 東広島医療センター 薬剤部 調剤主任 生田 智基 先生

HER2陰性胃がんで
キイトルーダ®と化学療法の併用治療を
受けられる患者さんへ

わたしの治療日誌

監修

国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科 院長補佐 仁科 智裕 先生

看護部 外来師長 岸田 恵 先生

国立病院機構 東広島医療センター 薬剤部 調剤主任 生田 智基 先生



もくじ

● 胃がんの治療について	4
● キイトルーダ®と化学療法の併用について	6
● キイトルーダ®と化学療法の併用治療の前に	10
● キイトルーダ®と化学療法の併用治療スケジュール	12
● キイトルーダ®による治療の注意点	14
● 治療中に他の医療機関を受診する場合	15
● キイトルーダ®の特に注意すべき副作用	16
● 化学療法の特に注意すべき副作用	17
● キイトルーダ®の副作用として予測される症状	18
● 体調がすぐれないと感じたとき	20
● 体調変化の記録方法	22
● 治療メモ	40

胃がんの治療について

● 胃がんの治療

胃がんの治療は、進行度や全身状態に応じて、内視鏡治療、手術療法、薬物治療、緩和治療など、さまざまな治療法を組み合わせた集学的治療が行われます。



● 胃がんの薬物治療

胃がんの薬物治療には、**免疫チェックポイント阻害薬による免疫療法**、**化学療法**、**分子標的療法**があり、これらの薬を単独で投与する場合と、組み合わせて投与する場合があります。薬にはそれぞれ特徴的な副作用がありますので、体の状態を観察しながら治療を行います。

免疫療法(免疫チェックポイント阻害薬)

がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させることによって、がん細胞を排除することを目的とした治療です。

化学療法(殺細胞性抗がん剤)

化学療法に用いられる薬剤は殺細胞性抗がん剤です。がん細胞の分裂や増殖などを阻害することによって、がんの進行を抑えることを目的とした治療です。化学療法は免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬と組み合わせることもあります。

分子標的療法(分子標的薬)

がん細胞の増殖に関わるタンパク質や、がん細胞に栄養を運ぶ血管を作るときに必要な因子など、がん細胞に特徴的な分子を標的としてがん細胞を攻撃することを目的とした治療です。

詳しくは 6~9 ページを参照してください▶





キイトルーダ®と 化学療法の併用について

HER2陰性胃がんの初回薬物治療(1次治療)のひとつに、
免疫チェックポイント阻害薬のキイトルーダ®と
化学療法(フッ化ビリミジン系抗がん剤+プラチナ系抗がん剤)
の併用治療があります。

まず、化学療法についてご紹介します。



がん細胞の増殖

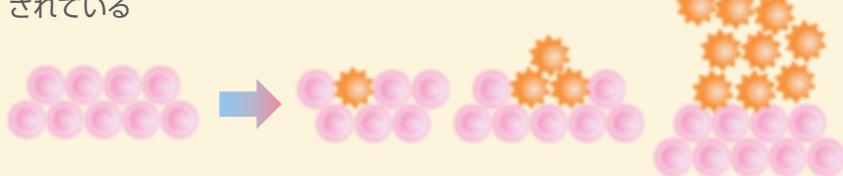
正常な細胞は、際限なく増殖することができないようにコントロールされていますが、なんらかの原因によりその遺伝子に変化(遺伝子変異)が起こると、細胞は異常な分裂と増殖を繰り返すようになります。このような細胞をがん細胞といいます。

正常細胞

増殖がコントロール
されている

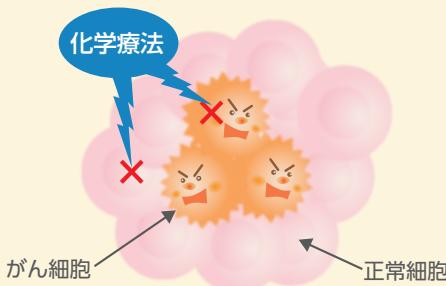
がん細胞

異常な分裂と増殖を繰り返す



化学療法について

化学療法は、殺細胞性抗がん剤を用いて活発に分裂しているがん細胞の増殖を阻止することで、がん細胞を死滅させる治療です。正常細胞の増殖にも影響があります。



● キイトルーダ[®]と併用する化学療法

キイトルーダ[®]+フッ化ピリミジン系抗がん剤+プラチナ系抗がん剤

フッ化ピリミジン系抗がん剤

カペシタビン

5-FU(フルオロウラシル)

S-1(テガフルール・ギメラシル・オテラシルカリウム)

カペシタビン、5-FU、S-1は、がん細胞がDNA*を作るために必要な酵素の働きを抑制することで、DNAの複製を妨げ、がん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりします。

プラチナ系抗がん剤

オキサリプラチン

シスプラチン

細胞が増殖するためにはDNAの複製が必要です。オキサリプラチン、シスプラチニンは、がん細胞のDNAと結合してDNAの複製を妨げ、がん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりします。

*遺伝子の情報を持つ分子



キイトルーダ®と 化学療法の併用について

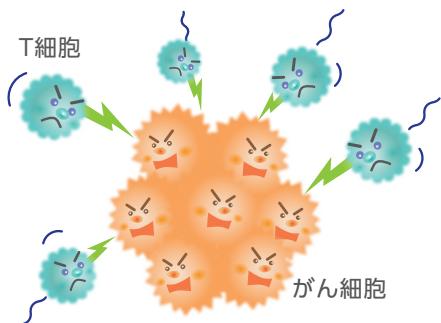
つぎに免疫療法についてご紹介します。



●私たちの免疫機能と胃がん

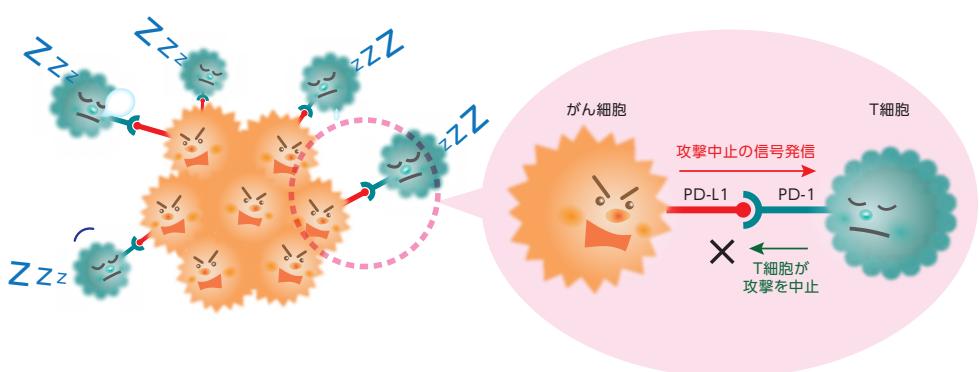
私たちの体内には、病気をひきおこす細菌やウイルス、がん細胞などから体を守る「免疫」という防衛機能が備わっています。

T細胞などのリンパ球による免疫機能は、がん細胞を攻撃し体内からがん細胞を排除しています。



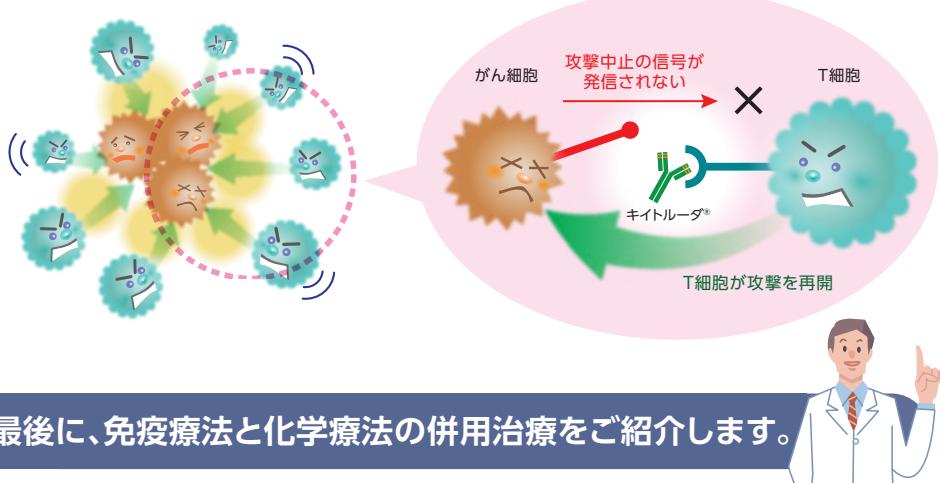
しかし、がん細胞は生き残るために免疫機能による攻撃に対しブレーキをかける信号を送ります。

ブレーキをかける信号は、がん細胞などの表面にあるPD-L1というタンパク質がT細胞表面のPD-1と結合することなどにより発信されます。



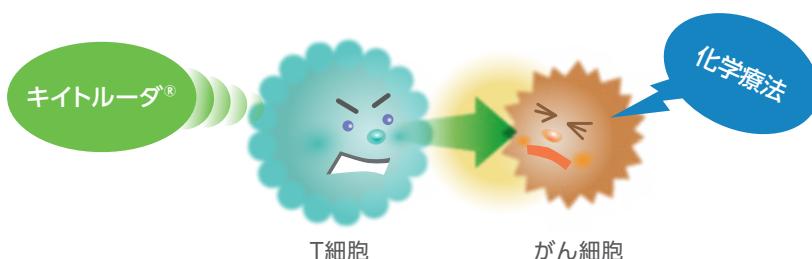
● キイトルーダ[®](免疫チェックポイント阻害薬)について

免疫チェックポイント阻害薬であるキイトルーダ[®]はT細胞表面のPD-1に結合することにより、がん細胞がT細胞に送るブレーキをかける信号を遮断します。その結果T細胞のブレーキは解除され、がん細胞への攻撃が再開することで、抗がん作用が発揮されると考えられています。



最後に、免疫療法と化学療法の併用治療をご紹介します。

キイトルーダ[®]はがん細胞を攻撃するT細胞の機能を活性化し、化学療法はがん細胞を直接攻撃します。よって、キイトルーダ[®]と化学療法(フッ化ピリミジン系抗がん剤+プラチナ系抗がん剤)を併用して治療すると、異なる作用でがん細胞を攻撃するため、双方の治療効果が期待できます。一方、それぞれの薬剤には副作用がありますので、些細なことでもおかしいなと思うことがあれば、すぐに医師や看護師、薬剤師に相談することが大切です。





キイトルーダ®と化学療法の併用治療の前に

- あなたの体の状態によっては、キイトルーダ®と化学療法の併用治療を受けられないことがあります

- キイトルーダ®や化学療法に含まれている成分と同じ成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある方

【過敏症症状の例】

血圧の低下



意識障害



発疹



じんま疹



発熱



- 機能障害を伴う重度の感覚異常または知覚不全がある方
- 妊娠している、または妊娠している可能性がある方*
- 重篤な腎障害のある方
- 重篤な骨髄抑制のある方
- 重篤な肝障害のある方
- カペシタビンまたは5-FUとの併用治療を受けるにあたり、S-1を投与されている方および投与中止後7日以内の方
- S-1との併用治療を受けるにあたり、他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤(これらの薬剤との併用療法を含む)またはフルシトシンを投与されている方

*胎児への影響や流産が起きる可能性があります。なお、キイトルーダ®と化学療法の併用治療中に分かった場合は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

● キイトルーダ®と化学療法の併用治療を受ける前に

治療を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

□ キイトルーダ®を使用する前の確認事項

- 薬や食べ物にアレルギーがある
- 自己免疫疾患*に現在かかっているか、過去に自己免疫疾患にかかったことがある
- 間質性肺疾患**にかかっている、または以前にかかったことがある
- 現在、使用している薬がある
- 臓器移植または造血幹細胞移植†をしたことがある
- 結核に感染している、または過去にかかったことがある

□ 化学療法を開始する前の確認事項

- 骨髄機能抑制、肝障害、腎障害、感染症、耐糖能異常がある
- 感覚異常または知覚不全がある
- 間質性肺炎があるまたは既往歴がある
- 心疾患があるまたは既往歴がある
- 冠動脈疾患の既往歴がある
- B型肝炎ウイルスキャリアまたは既往感染者(HBs抗原陰性、かつHBC抗体またはHBS抗体陽性)
- 消化管潰瘍または出血、水痘(みずぼうそう)がある
- 聴力障害がある

* 自己免疫疾患とは、本来自己には攻撃しないはずの免疫機能が、自分自身の身体や組織を攻撃してしまうことで生じる病態です。

例：膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎など)、クローン病、潰瘍性大腸炎、バセドウ病、橋本病、1型糖尿病など。

**「キイトルーダ®治療ハンドブック」をご参照ください。

† 病気になった造血幹細胞(赤血球、白血球、血小板をつくり出す細胞)を健康な造血幹細胞に入れ替え、正常な血液をつくることができるようする治療です。

キイトルーダ®、オキサリプラチニン、カペシタビン、シスプラチニン、5-FU、S-1電子添文より



キイトルーダ®と化学療法の併用治療スケジュール

1サイクルの投与タイミング

キイトルーダ®
(点滴)

補液や制吐剤

治療スケジュール(例)

	1サイクル (21日間)	2サイクル
キイトルーダ®	 30分 200mg*1  30分 400mg*1	
プラチナ系 抗がん剤	オキサリプラチン または シスプラチン	 120分 または 施設規定*1
フッ化ピリミジン系 抗がん剤	カペシタビン または S-1 または 5-FU	 14日間 (1日2回) 継続内服*2 →  5日間 持続投与 →

*1 各サイクル1日目のみに投与します

*2 14日間(1日2回)継続内服後、7日間休薬します

→

プラチナ系
抗がん剤
(点滴)

→

フッ化ピリミジン系
抗がん剤
(点滴または内服)

3サイクル	4サイクル	5サイクル	6サイクル	7サイクル以降
				→
				→
				→
14日間 (1日2回) 継続内服*2 →	14日間 (1日2回) 継続内服*2 →	14日間 (1日2回) 継続内服*2 →	14日間 (1日2回) 継続内服*2 →	14日間 (1日2回) 継続内服*2 →
5日間 持続投与 →	5日間 持続投与 →	5日間 持続投与 →	5日間 持続投与 →	5日間 持続投与 →

あなたの健康状態や治療経過によって、内容やスケジュールが異なることがあります。
投与スケジュールがこちらの図から外れたとしても、不安に思わず、担当医の指示に従って
治療を続けてください。

キイトルーダ[®]による治療の注意点

●キイトルーダ[®]点滴中の注意点 (点滴中に起こる可能性のある副作用)

点滴中や点滴直後にアレルギーのような症状があらわれる「点滴時の過敏症反応(インフュージョン リアクションinfusion reaction)」が起こることがあります。

点滴中あるいは点滴後に下記のような症状があらわれた場合には、担当の医師または看護師、薬剤師に連絡してください。

- 皮膚のかゆみ
- じんま疹
- 声がかすれる
- くしゃみが出る
- 喉のかゆみ
- 息苦しい
- 胸がどきどきする
- 意識がうすれる
- めまい・ふらつき
- 血圧の低下

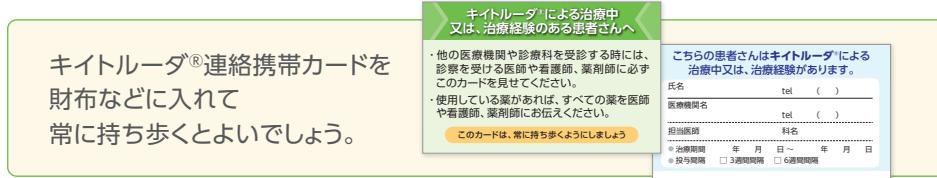
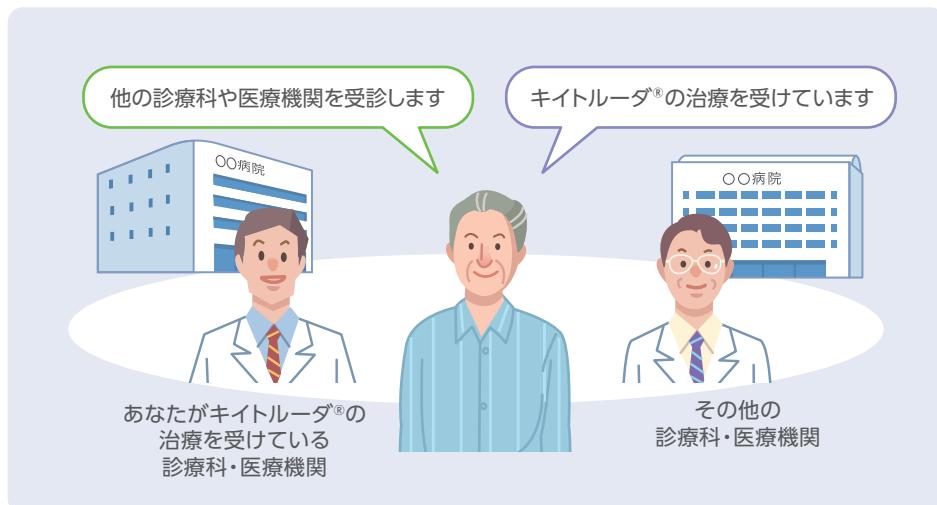
※点滴終了後、1~2時間後に症状があらわれる場合があるので注意してください。



治療中に他の医療機関を受診する場合

キイトルーダ[®]の治療を始めてから、他の医療機関を受診する場合には、キイトルーダ[®]の治療を受けている医療機関の担当医にも相談しましょう。なお、相談し忘れてしまった場合でも、きちんと報告することが大切です。

また、他の医療機関を受診したら、受診先の医療スタッフにもキイトルーダ[®]の治療を受けていることを知らせてください。



キイトルーダ[®]の特に注意すべき副作用

キイトルーダ[®]は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させるため、免疫が働き過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。

症状のあらわれ方には個人差があり、発見が遅れると重症化することや継続的な治療が必要となる場合があります。あらかじめ副作用の種類や症状を知っておくことは、副作用の早期発見と対処につながります。安心して治療を続けていくためにも、次に挙げるキイトルーダ[®]の注意すべき副作用と症状をしっかりと確認しておきましょう。

キイトルーダ[®]の特に注意すべき副作用

- 間質性肺疾患
- 大腸炎・小腸炎・重度の下痢
- 重度の皮膚障害
- 神経障害
 - ギラン・バレー症候群等
- 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
- 内分泌障害
 - 甲状腺機能障害
 - 下垂体機能障害
 - 副腎機能障害
- 1型糖尿病
- 腎機能障害
- 脾炎・脾外分泌機能不全
- 筋炎・横紋筋融解症
- 重症筋無力症
- 心筋炎
- 脳炎・髄膜炎・脊髄炎
- 重篤な血液障害
 - 免疫性血小板減少性紫斑病
 - 溶血性貧血
 - 赤芽球癆
 - 無顆粒球症
- 重度の胃炎
- ぶどう膜炎
- 血球貪食症候群
- 結核
- 点滴時の過敏症反応
(インフュージョン リ アクション)
(infusion reaction)

P18~19に具体的な症状をお示しします。>

化学療法の特に注意すべき副作用

末梢神経障害



手足のしびれや違和感、腕の感覚がない、足の裏がふわふわして歩きにくい、うまく物をつかめない、口周囲のしびれ、歯の知覚過敏などが起こることもあります。

食欲不振



口内炎



恶心・嘔吐



胃の中にあるものを吐き出してしまうことがあります。その前に起こるむかつき(吐き気)を恶心といいます。

下痢

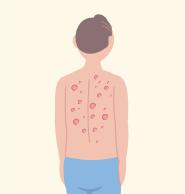


流涙



涙が止まらなくなったり、目が充血したり、目がかすんだりすることがあります。ひどい場合は、結膜炎や角膜炎になったり、涙が流れる管がつまることもあります。

皮疹(発疹)



首筋や手、足、背中などの皮膚が赤くなったり、かゆくなったりすることがあります。

手足症候群



手足にしびれや痛み、赤く腫れるなどの症状が出ることがあります。また、爪が変形したり、色がついたりすることもあります。

骨髄抑制



骨髄の働きが低下して血液細胞をつくる機能が低下します。白血球が減少すると感染症、赤血球が減少すると貧血、血小板が減少すると出血などが起こりやすくなります。

その他の副作用:アレルギー反応、注射部位反応(血管痛)、脱毛、倦怠感、間質性肺炎、腎障害

湊川絢子. 改訂第7版 がん化学療法レジメンハンドブック. 遠藤一司 他 編. 羊土社, p503-509, 2022.

玉木慎也. 改訂第7版 がん化学療法レジメンハンドブック. 遠藤一司 他 編. 羊土社, p454-463, 2022.
がん情報サービス <https://ganjoho.jp/public/support/condition/index.html> (2025年3月19日閲覧)

監修: 国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科 院長補佐 仁科 智裕 先生

キイトルーダ®の副作用として 予測される症状

頭痛 下垂体機能障害、脳炎・髄膜炎など

意識がうすれる 1型糖尿病、脳炎・髄膜炎など

見え方の異常 ぶどう膜炎

まぶたが重い・
顔の筋肉が動きにくくなる 重症筋無力症

口の中や喉が渴きやすい・
多飲 1型糖尿病

歯ぐきや口内の出血 免疫性血小板減少性紫斑病、
血球貪食症候群

くしゃみ 点滴時の過敏症反応

声のかすれ 甲状腺機能障害など

くちびるのただれ 重度の皮膚障害

咳 間質性肺疾患、心筋炎、結核

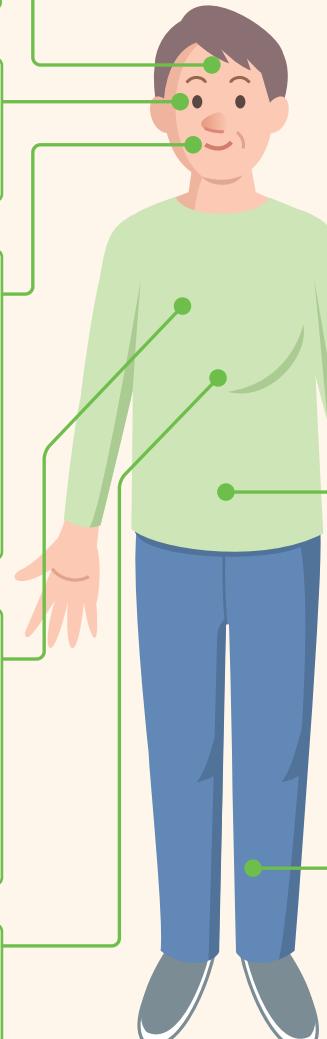
たん・血たん 結核

息切れ・
呼吸困難 間質性肺疾患、ギラン・バレー症候群、
重症筋無力症、点滴時の過敏症反応、
心筋炎、溶血性貧血、赤芽球癆など

胸の痛み 心筋炎

吐き気や
おう吐 大腸炎・小腸炎、副腎機能障害、
脳炎・髄膜炎、1型糖尿病、重度の胃炎など

食欲不振 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、
下垂体機能障害、副腎機能障害、
重度の胃炎など



記載の症状やその他気になる体調の変化がある場合は、
すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。



下痢	大腸炎・小腸炎など
ネバネバした便・血便	大腸炎・小腸炎
油が浮いたり、すっぱいにおい のする柔らかい便が出る	膵外分泌機能不全
便秘	甲状腺機能障害、副腎機能障害、脊髄炎
腹痛	大腸炎・小腸炎、膵炎、1型糖尿病、 硬化性胆管炎
お腹が張る	膵外分泌機能不全など
トイレが近い	1型糖尿病
血尿	腎機能障害、免疫性血小板減少性紫斑病
尿量の減少・ 尿が出にくい	腎機能障害、脊髄炎
手足に力が入らない	ギラン・バレー症候群、筋炎・横紋筋融解症、 重症筋無力症、脊髄炎
手指のふるえ	甲状腺機能障害など

全 身

発熱	間質性肺疾患、大腸炎・小腸炎、腎機能障害、 重度の皮膚障害、心筋炎、脳炎・髄膜炎、 無顆粒球症、血球貪食症候群、結核など
疲れやすい・だるい	大腸炎・小腸炎、劇症肝炎・肝不全・ 肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、 副腎機能障害、結核など
黄疸	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・ 硬化性胆管炎、膵炎、溶血性貧血
発疹などの皮膚症状	点滴時の過敏症反応、重度の皮膚障害、 免疫性血小板減少性紫斑病、 硬化性胆管炎、血球貪食症候群など
体重の減少	副腎機能障害、1型糖尿病、結核など
体重の増加	甲状腺機能障害、腎機能障害
むくみ	甲状腺機能障害、腎機能障害、心筋炎
けいれん	脳炎・髄膜炎、血球貪食症候群
しびれ	ギラン・バレー症候群



体調がすぐれないと感じたとき

副作用の症状は人によってさまざまです

何かおかしいと思うことがあれば、どんな些細なことでも
すぐに医師や看護師、薬剤師に相談することが大切です

がんの治療中は、がんそのものの影響や、薬の副作用などによって、
体の不調を感じることがあります。つらい症状に適切に対処することは、
治療を続けるために大切なことです。下記に日常生活のポイントを
紹介します。

● 吐き気や食欲がないとき

食事や水分がとれないと、脱水になりやすいので注意が必要です。

- ▶ こまめに水分をとるようにしましょう。
- ▶ 体力を落とさないためにも、食べられる物や
好きな物から少しずつ食べるようにしましょう。
- ▶ 吐き気が強いときは、
刺激やにおいの強いものを避けましょう。



●疲れやだるさを感じるとき

治療中には、薬の副作用以外にも、不安やストレスなどの影響によって、疲れやだるさを感じることもあります。

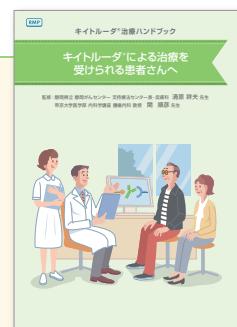
- ▶規則正しい生活を心がけ、活動と睡眠の時間をバランスよくとりましょう。
- ▶自分が楽しいと感じる運動や趣味等を適度に取り入れ気分の転換をはかってみてはどうでしょうか。
- ▶一日ゆっくり休むなど、体調に合わせて過ごしてみましょう。



●それでも体調が悪いと感じるとき

強い疲れやだるさを感じるときは、無理をしないことと、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に相談することが大切です。

- ▶気になる症状がある場合には、必ず診察時に担当の医師や看護師、薬剤師に伝えるようにしましょう。
- ▶体調が悪い状態が続く場合には、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に相談するようにしましょう。



キイトルーダ[®]による治療で、特に注意すべき副作用と症状については「キイトルーダ[®]治療ハンドブック」や各薬剤の解説冊子などでもう一度確認し、気になる症状が出たら、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師に連絡しましょう。

体調変化の記録方法

副作用の症状やあらわれる時期には個人差があり、自分では気づきにくい重大な副作用があらわれることもあります。

日々の体調変化を記録することで、副作用の早期発見が可能となり、定期検診時の医師や看護師への相談もしやすくなります。

あなたが受ける治療法に印 をつけましょう

- キイトルーダ[®] + CAPOX療法
カペシタビン + オキサリプラチン
- キイトルーダ[®] + FP療法
5-FU + シスプラチニ
- キイトルーダ[®] + SOX療法
S-1 + オキサリプラチニ
- キイトルーダ[®] + SP療法
S-1 + シスプラチニ
- キイトルーダ[®] + XP療法
カペシタビン + シスプラチニ

記入例) キイトルーダ®+オキサリプラチン+カペシタビン併用療法の場合

併用する薬剤名を記載しましょう

1日2回服用するお薬は服用するたびに○をつけましょう

日付(月/日)		1週目(サイクル)					投与/服用を行ったら 丸をつけましょう
		5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	
キイトルーダ®点滴	○						
オキサリプラチン	○						
カペシタビン	○○	○○	○○	○○	○○	○○	
診察							
体温(℃)	36.7	37.3	37.5	37.3	36.8	36.5	36.5
体重(kg)	65.0						
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐		○				
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
手足	しづれ 手や足のしづれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る			○	○		
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぽりにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化	(5/4) 微熱があり、解熱剤を飲んだ。						

気になる症状や疑問点などがあれば
書いておきましょう

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。

1
～
3
週4
～
6
週7
～
9
週10
～
12
週13
～
15
週16
～
18
週19
～
21
週22
～
24
週

日付(月/日)	1週目(サイクル)						
キイトルーダ®点滴	/	/	/	/	/	/	/
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み しびれ						
手足	手や足のしびれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	4週目(サイクル)						
キイトルーダ®点滴	/	/	/	/	/	/	/
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み しびれ						
手足	手や足のしびれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	7週目(サイクル)						
キイトルーダ®点滴	/	/	/	/	/	/	/
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み しびれ						
手足	手や足のしびれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	10週目(サイクル)	10週目(サイクル)	10週目(サイクル)	10週目(サイクル)	10週目(サイクル)	10週目(サイクル)	10週目(サイクル)
キイトルーダ®点滴	/	/	/	/	/	/	/
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み しづれ						
手足	手や足のしづれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	13週目(サイクル)						
	/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい						
	口内炎 歯ぐきや口内の出血						
	声のかすれ						
	吐き気やおう吐						
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
胸部	しづれ						
手足	手や足のしづれやピリピリするような痛み						
	手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振						
	腹痛						
	お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹						
	黄疸						
尿	多尿						
	尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ネバネバした便や血便						
	下痢						
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る						
全身	便秘						
	けいれん						
	むくみ						
	全身の症状						
	動作が緩慢						
	発熱						
疲れやすい・だるい							
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	16週目(サイクル)						
	/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴							
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
	しびれ						
	手や足のしびれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
	お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
	けいれん むくみ						
	全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	19週目(サイクル)						
キイトルーダ®点滴	/	/	/	/	/	/	/
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み しびれ						
手足	手や足のしびれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

1
~
3
週4
~
6
週7
~
9
週10
~
12
週13
~
15
週16
~
18
週19
~
21
週22
~
24
週

日付(月/日)	22週目(サイクル)						
キイトルーダ®点滴	/	/	/	/	/	/	/
診察							
体温(°C)							
体重(kg)							
頭	意識が薄れる 脱毛 物忘れ						
眼	見え方の異常 瞼が重い						
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り						
口や喉	たん、血たん 咳 口の中や喉が渴きやすい 口内炎 歯ぐきや口内の出血 声のかすれ 吐き気やおう吐						
胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み しづれ						
手足	手や足のしづれやピリピリするような痛み 手足に力が入らない、手指のふるえ						
腹部	食欲不振 腹痛 お腹が張る						
皮膚	皮膚のかゆみ、発疹 黄疸						
尿	多尿 尿量の減少、トイレが近い、血尿						
便	ねばねばした便や血便 下痢 油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る 便秘						
全身	けいれん むくみ 全身の症状 動作が緩慢 発熱 疲れやすい・だるい						
そのほか、気になる体調の変化							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当の医師や看護師、

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

薬剤師にご相談ください。

治療メモ

次回受診時に医師や看護師、薬剤師に質問したいことや伝えたいことをメモしておきましょう。

記入例

1・2・3週

5月 21日(日)～

月

日()

質問したいこと・伝えたいこと

5月21日

吐き気が辛くて、食欲が
ありません。どうしたら
食べられるようになりますか？

その後の経過

無理をしないようにしたら
気分が楽になり、少しずつ
食べられるようになって
きました。

医療者からのアドバイスマemo

- ・つらいときは無理せず、
好きなものを好きなときに
少しずつ食べる
- ・こまめに水分をとる



1・2・3週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

4・5・6週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

治療メモ

7・8・9週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

10・11・12週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

13・14・15週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

16・17・18週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

治療メモ

19・20・21週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

22・23・24週

月 日() ~ 月 日()

質問したいこと・伝えたいこと

医療関係者からのアドバイスマemo

その後の経過

連絡先メモ

● 医療機関名

● 電話番号

● 担当医師名

● 緊急連絡先

● 治療期間

年 月 日 ~ 年 月 日

治療に関する情報サイトのご紹介

MSD Oncology

「がんを生きる」

<https://www.msdoncology.jp/>



がんの治療に取り組む
患者さんとご家族のための
がん情報サイト

主なコンテンツ

- がんの状態と免疫との関連
- 胃がんの特徴や症状について
- 胃がんの治療について
- 日常生活のポイント



がんを生きる MSD Oncology

<https://www.msdoncology.jp/>



Webサイトでもキイトルーダ[®]の情報がご覧になれます。

キイトルーダ[®].jp

<https://www.keytruda.jp/>

キイトルーダ[®]と化学療法の併用治療を受けられる
患者さんとご家族のための情報サイト

主な コンテンツ

- キイトルーダ[®]と化学療法について
- キイトルーダ[®]と化学療法の併用治療の前に
- 点滴のタイムスケジュールと治療スケジュールについて
- キイトルーダ[®]と化学療法の併用治療の特に注意すべき副作用
- キイトルーダ[®]と化学療法併用治療日誌

キイトルーダ[®].jp

<https://www.keytruda.jp/>





DIARY & MEMO

